令和８年１１月２日

文化祭の感動を力に、温かい見守りとともに歩む

校長　山岸　恒孝

１０月２７日に開催いたしました文化祭を境に、それまでの陽気から一気に秋の澄んだ空気にガラリと入れ替わり、朝夕の冷え込みに深秋の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、先日の文化祭におきましては、お子様の発表時間に合わせて、大勢の保護者の皆様にご来校いただき、温かい拍手を賜りましたことに深く御礼申し上げます。皆様の温かい眼差しは、生徒たちにとって大きな励みとなり、日頃の練習の成果を存分に発揮する力となりました。

今年度も昨年度に引き続き、審査員として千葉県吹奏楽連盟副理事長の竹下美智男先生をお迎えいたしました。竹下先生からは、特に３年生の「声量、ハーモニー、曲の表現すべてに秀でている」クラス合唱に高い評価をいただきました。また、１０組によるトーンチャイムの演奏発表では、全校生徒が静かに耳を傾け、温かい応援の眼差しで見守る一体感あふれる姿に、私自身も深く感銘を受けました。生徒一人一人の輝きと、互いを思いやる心が光る素晴らしい一日となりました。

一方で、１０月２３日付の保護者向け文書でもお知らせいたしました通り、本校では生徒たちが落ち着いた環境で安心して学校生活を送れるよう、日常的な「校内見守り」をご案内いたしました。本校では昨年度をもちましてＰＴＡ活動が終了し、「おやじの会」等の活動も行われていない状況にございます。生徒の健全育成には、学校・家庭・地域の緊密な連携が不可欠です。特別な行事の日に限らず、日常の授業や生徒の様子をいつでもご参観いただけます。ご都合のつく時間帯にぜひ足をお運びいただき、生徒たちの様子を見守っていただければ幸いです。今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。